

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ssm.ac.jp/school/public_info/pdf/08_exchequer2.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.ssm.ac.jp/school/public_info/pdf/08_exchequer.pdf
財産目録	https://www.ssm.ac.jp/school/public_info/pdf/08_finance.pdf
事業報告書	https://www.ssm.ac.jp/school/public_info/pdf/12_1.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.ssm.ac.jp/school/public_info/pdf/11_7.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	スーパーeエンターテイメント科 (昼間Ⅱ部)		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1350 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1350 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		12人	0人	1人	7人	8人	

※スーパーeエンターテイメント科(昼間Ⅱ部)は2022年度新設学科。完成年度未達。現在1年生のみ在籍。

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。 定期試験(実技、筆記、レポート)をシラバスに定める評価方法にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の判定基準は以下の通りとしている。 1. 各年次 900 時間以上を修得した者は、進級することができる。 2. 各年次 900 時間以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業することができる。 3. 上記 1 及び 2 に該当する者は、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定する。 上記の基準を満たさない者は、原級留め置き（留年）または卒業保留となる。また、卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は、卒業認定されない。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
-人 (-%)	-人 (-%)	-人 (-%)	-人 (-%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) スパ- e エンターテイメント科 (昼間 II 部) は 2022 年度新設学科。完成年度未達。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	音楽ビジネス科 (昼間 I 部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間/単位	0 単位時 間/単位	3330 単位 時間/単 位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			3330 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		35 人	0 人	1 人	16 人	17 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格</p> <p>上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p> <p>定期試験(実技、筆記、レポート)をシラバスに定める評価方法にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 各年次900時間以上を修得した者は、進級することができる。 各年次900時間以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業することができる。 上記1及び2に該当する者は、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定する。 <p>上記の基準を満たさない者は、原級留め置き(留年)または卒業保留となる。また、卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は、卒業認定されない。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	7人 (70%)	3人 (30%)
（主な就職、業界等） 芸能事務所、音楽スタジオ等音楽業界企業			
（就職指導内容） 面接対策、履歴書対策、合同企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 音楽ビジネス科(昼間Ⅰ部)は一般的な就職という形式と、各事務所との所属契約という進路のため、一般的な就職形態をとった学生を就職者数として計上している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	4人	11%
（中途退学の主な理由） 進路変更、心神喪失、結婚出産のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	パフォーミング・アーツ科 (昼間 I 部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	0 単位時 間/単位	2670 単位 時間/単 位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			2670 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		75 人	0 人	1 人	21 人	22 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、 学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本 校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点 : S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点 : A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点 : B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点 : C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点 : D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。 定期試験(実技、筆記、レポート)をシラバスに定める評価方法にて学修成果の評価を 行ない、単位認定している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の判定基準は以下の通りとしている。 1. 各年次 900 時間以上を修得した者は、進級することができる。 2. 各年次 900 時間以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業するこ とができる。 3. 上記 1 及び 2 に該当する者は、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒 業進級判定会議を開催し、審査の上、判定する。 上記の基準を満たさない者は、原級留め置き(留年)または卒業保留となる。また、 卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は、 卒業認定されない。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修 に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
46人 (100%)	0人 (0%)	29人 (63%)	17人 (37%)
（主な就職、業界等） 芸能事務所、音楽スタジオ等音楽業界企業			
（就職指導内容） 面接対策、履歴書対策、合同企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） パフォーミング・アーツ科（昼間Ⅰ部）は一般的な就職という形式と、各事務所との所属契約という進路のため、一般的な就職形態をとった学生を就職者数として計上している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	3人	3%
（中途退学の主な理由） 進路変更による退学		
（中退防止・中退者支援のための取組） 本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	パフォーミング・アーツ科 (昼間Ⅱ部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	0 単位時 間/単位	3060 単位 時間/単 位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			3060 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		46 人	0 人	1 人	15 人	16 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、 学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本 校ホームページにて公表。	
成績評価の基準・方法	
(概要) GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。 定期試験(実技、筆記、レポート)をシラバスに定める評価方法にて学修成果の評価を 行ない、単位認定している。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 卒業・進級の判定基準は以下の通りとしている。 1. 各年次900時間以上を修得した者は、進級することができる。 2. 各年次900時間以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業するこ とができる。 3. 上記1及び2に該当する者は、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒 業進級判定会議を開催し、審査の上、判定する。 上記の基準を満たさない者は、原級留め置き(留年)または卒業保留となる。また、 卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は、 卒業認定されない。	
学修支援等	
(概要) 本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修 に対して困難な学生をサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	10人 (53%)	9人 (47%)
（主な就職、業界等） 芸能事務所、音楽スタジオ等音楽業界企業			
（就職指導内容） 面接対策、履歴書対策、合同企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） パフォーミング・アート科（昼間Ⅱ部）は一般的な就職という形式と、各事務所との所属契約という進路のため、一般的な就職形態をとった学生を就職者数として計上している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	1人	3%
（中途退学の主な理由） 心神喪失のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	音楽テクノロジー科 (昼間 I 部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間/単位	0 単位時 間/単位	3330 単位 時間/単 位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			3330 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		90 人	0 人	2 人	18 人	20 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。</p> <p>評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点 : S(4.0) 合格</p> <p>出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点 : A(3.0) 合格</p> <p>出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点 : B(2.0) 合格</p> <p>出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点 : C(1.0) 合格</p> <p>出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点 : D(0.0) 不合格</p> <p>上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p> <p>定期試験(実技、筆記、レポート)をシラバスに定める評価方法にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 各年次 900 時間以上を修得した者は、進級することができる。 各年次 900 時間以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業することができる。 上記 1 及び 2 に該当する者は、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定する。 <p>上記の基準を満たさない者は、原級留め置き(留年)または卒業保留となる。また、卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は、卒業認定されない。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43人 (100%)	0人 (0%)	38人 (88%)	5人 (12%)
（主な就職、業界等） 音響会社、番組制作会社、芸能事務所、イベント制作会社等、音楽業界企業			
（就職指導内容） 面接対策、履歴書対策、合同企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99人	6人	6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、心神喪失のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
スーパーエンターテイメント科（昼間Ⅱ部）	100,000円	750,000円	555,800円	施設維持費、総合演習費、キャリア教育振興費
音楽ビジネス科（昼間Ⅰ部）	100,000円	700,000円	555,800円	施設維持費、総合演習費、キャリア教育振興費
パフォーミングアーツ科（昼間Ⅰ部）	100,000円	700,000円	555,800円	施設維持費、総合演習費、キャリア教育振興費
パフォーミングアーツ科（昼間Ⅱ部）	100,000円	700,000円	555,800円	施設維持費、総合演習費、キャリア教育振興費
音楽テクノロジー科（昼間Ⅰ部）	100,000円	700,000円	555,800円	施設維持費、総合演習費、キャリア教育振興費
修学支援（任意記載事項）				
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、延納、分納措置を行っている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ssm.ac.jp/school/public_info/pdf/09_appraisal_self_ssm.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 卒業生代表、保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者ととも、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行なった自己点検、自己評価の内容を通し、学校運営の改善に活かすことを方針としている。 評価項目としては下記とする。 ・教育理念、目的、育成人材像について・学校運営について・教育活動について ・教育成果について・学生支援について・教育環境について ・学生募集と受け入れについて・財務について・法令等の遵守について ・社会貢献について		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社エアソク	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生代表
学生保護者	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	保護者代表
クラーク記念国際高等学校	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	高等学校関係者
中央地区第4町内会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	地域関係者
一般社団法人北海道ライブ・エンタテインメント連絡協議会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
サンバフリー有限会社	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社クリエイティブオフィスキュー	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社ジャイブプロモーション	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
一般社団法人 日本音楽制作者連盟	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社ランタイムミュージックエンタテインメント	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
北海道音響事業協会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社音響スタッフ	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ssm.ac.jp/school/public_info/pdf/09_appraisal_ssm.pdf		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.ssm.ac.jp またはメインパンフレット及び学生募集要項の郵送

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	31人	33人	
	第Ⅱ区分	14人	11人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当し

たことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	人	0人	-人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	-人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	-人
計	人	0人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	-人
GPA等が下位4分の1	人	0人	-人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	-人
計	人	0人	14人
(備考)			

